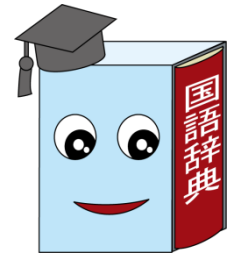


家庭学習の手引き



木津川市立木津南中学校

家庭学習の方法【国語科】



(1)教科担当から(教科で身につけてほしいこと)

国語は全ての教科の基本となる重要な教科です。また、日常生活などにも直接つながる教科であるとも言えます。次の力を中学校 3 年間でしっかりと身につけていきましょう！

①話す・聞く力

面接や意見発表など、場面に応じて相手の話をしっかりと聞き、自分の考えをはっきりと伝える力をつけることが目標です。

②書く力

1200 字程度のまとまった文章を書く力が目標です。文章の構成や書き出し、まとめを工夫して書くことができるよう、様々な文章を読んで表現の引き出しを増やしていきましょう。

③読む力

文学作品、論説文、古典など様々な文章の要点をしっかりと理解できるようにしましょう。また、文章の構成や表現技法などの工夫とその効果を理解し、文章をいろんな角度から読み取れるようにしましょう。

④言語事項の知識理解

文法に関しては「文の成分」「品詞」「活用」をしっかりと理解できるようにし、「敬語」など日常の生活に必要な言葉の知識を理解することが目標です。また、漢字に関しては漢字検定 3 級を目標に漢字の読み書きだけでなく、四字熟語などの知識も身につけていきましょう。

(2)家庭学習 30 分メニュー

①予習メニュー 30 分

- ・教科書の音読をして、漢字の読み方や意味の分からない言葉を調べましょう。疑問点もメモしておくことで授業の理解が深まります！小テストの準備もしておきましょう。

②復習メニュー 30 分

- ・その日の授業のノートを見やすくまとめ直しましょう。授業中先生が言っていたことのメモも整理しておくことでよりわかりやすくなります。
- ・授業のノートを見ながら重要なポイントを教科書に書き込みましょう。テスト前に短時間で要点をチェックできるようになります。

③レベルアップメニュー 30 分

- ・漢字ノートや文法の問題集などを繰り返しやってみましょう。
- ・教科書を読みながら国語のワークを繰り返し解きましょう。
- ・新聞や評論など、様々な文章を読んで、要点を 200 字程度でまとめてみましょう。



(3)テスト対策

- ・漢字はとにかく繰り返し書いて覚えましょう。点やはね、はらいなど細かいところをしっかりと確認して、丁寧に書くことが重要です。
- ・読み取り問題については、ノートのまとめ直しや教科書のチェックポイントを確認しましょう。特に授業で先生が説明したことや、話していた要点をしっかりとメモしておくことでよりいいでしょう。ワークを見直し、自分が間違えた問題を確認することも大切です。また、市販されている問題集を解いてみることも効果的です。

家庭学習の方法【社会科】



(1)教科担当から（教科で身につけてほしいこと）

①思考・判断・表現

習得した知識を使って、学習内容についての課題を見つけ、内容に関する意義や特色、相互の関連を多面的・多角的に考え、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現する力をつけることが目標です。

②知識・技能

諸資料から有用な情報を適切に選択して、効果的に活用する力をつけること、学習内容についての意義や特色、相互の関連を理解し、その知識を身につけることが目標です。

(2)家庭学習 30 分メニュー

①予習メニュー30 分

- ・授業を行う範囲の**教科書のページを読みましょう。**
- ・教科書を読み、**小学校で習った所の復習**をしましょう。また、分からないところに線を引き、自分の知っている所と知らない所を把握しておきましょう。

②復習メニュー30 分

- ・教科書・ノート・小テストを使い、**重要語句やメモをした所を見直し**、授業の内容をふり返りましょう。ノートやプリントを見返しましょう
- ・重要語句を**単語帳**などにまとめましょう。
- ・歴史分野は、年表を作りましょう。また人物が行ったことをまとめましょう
- ・地理分野は、地域ごとの**特徴をまとめましょう。**
- ・公民分野は、**図や表を見直しましょう。**



③レベルアップメニュー30 分

- ・**教科書の音読**をしましょう。
- ・新聞やテレビのニュースで**社会科に関連する出来事を探し、ノートにまとめ**、自分の考えを書きましょう。（新聞ならスクラップ）
- ・歴史的な遺産や、授業で習った地域を**実際に訪れてみましょう。**

(3)テスト対策

- ・授業で行った小テストなどを使って、**繰り返し重要語句の確認**をしましょう。また、重要語句の内容や出来事を理解し、説明できるようにするために、**重要語句、出来事が答えになるような問題を自分でつくってみましょう。**
- ・授業で使用した資料に関して、**先生の説明をしっかりと聞き、メモしておきましょう。**

家庭学習の方法【数学科】

(1)教科担当から（教科で身につけてほしいこと）

算数や数学は、社会に出てから日常生活で必要となる“道具”として使われるものです。しかし、その知識だけでは、高度に情報化され複雑になった社会で仕事や生活をしていくことはできません。社会生活をしていく上で欠かせない、生活や創造の基盤となるものが数学なのです。

さて、中学校で学習する「数学」は、高校で学習する数学の基盤づくりといった面がある一方で、若い世代でなければ身に付けることができない論理的思考力や推理力、応用力などの思考力を育成することができる教科です。中学校の数学の学習に真剣に取り組んで、将来必要となる数学的な思考力を身につけましょう。

① 数学的な見方や考え方、表現力

見通しを持ち、これまでに学んだ内容をどのように使って問題を解決していくかを考えられること、また、それを表現することが目標です。

② 数学的な技能、数量や図形などについての知識・理解

基本的な計算をする力、それを使って複雑な計算を解く力をつけること、用語、公式の意味を理解し、活用できることが目標です。

(2)家庭学習 30 分メニュー

① 予習メニュー 30 分

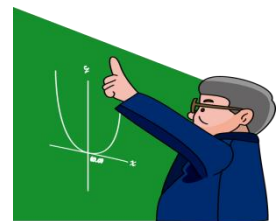
- ・教科書を読み、次の時間の学習内容を知っておきましょう。
- ・教科書の太字の部分の意味を理解しておきましょう。

② 復習メニュー 30 分

- ・授業で説明された例、例題を自分の力でもう一度解きましょう。
- ・授業で解いた問、練習問題をもう一度解きましょう。
- ・タブレットを用いて、ドリルパークの問題を解きましょう。

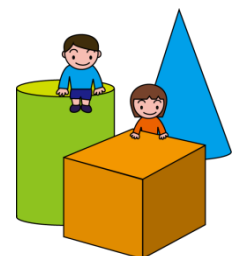
③ レベルアップメニュー 30 分

- ・授業で解いた例、例題、問、練習問題を数字を変えて、解きましょう。
- ・問題集の同じ単元の問題を解きましょう。

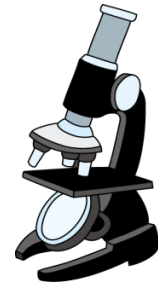


(3)テスト対策

- ・問題集を隅々まで解きましょう。自分の力で解けない問題は、解答を見て解き方を理解し自分で解けるようにしておきましょう。
- ・教科書の太字の部分は、言葉と意味の両方を理解しておきましょう。
- ・公式は覚えるだけでなく、使えるようにしておきましょう。
- ・授業で配布されたプリントや授業で解いた問題も、もう一度解いておきましょう。間違えたものは、特にしっかり復習して理解しておきましょう。



家庭学習の方法【理科】



(1) 教科担当から（教科で身につけてほしいこと）

理科は、人間が豊かに生活する上でなくてはならない教科です。

中学校の間に次のことをしっかり身につけておきましょう。

①科学的に考える力

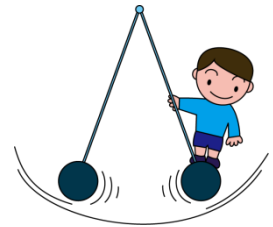
身のまわりの自然現象の中に問題を見だし、目的意識をもって観察、実験を行い、分析し、論理的に考えることで問題を解決する力をつけることが目標です。

②観察・実験の技能を身につけ表現する力

実験・観察の正しい方法を知り、実際に行えることが目標です。実験を安全に行い、結果を正しく導き出し、レポートに記入する力もこの中にあります。

③自然現象についての知識理解

科学的な用語を知り、自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解することが目標です。



(2) 家庭学習 30 分メニュー

①予習メニュー30 分

- 教科書を読み、太字の語句の意味を説明できるようにしましょう。
教科書の中で疑問に思ったことを自分なりに調べてみると、さらに科学に興味がわきます。

②復習メニュー30 分

- 実験プリントを見直し、実験・観察の方法や手順を復習しましょう。何を調べる観察・実験なのか、安全に行うために注意する点などを理解しておくことさらによいでしょう。
- ワークの付属にある自主学習ノート（青色の冊子）に授業で習った範囲の問題を解いてみましょう。

③レベルアップメニュー30 分

- 授業で習ったことや、身のまわりの自然現象について、興味を持ったり、疑問に思ったことをインターネットや書籍等で調べましょう。さらに、理科が楽しくなります。
- 書店などで問題集を購入して取り組んでみましょう。

(3) テスト対策

- テスト前に配布される練習問題を、1 回目は答えを直接書き込まずにノートや紙に書き、2 回目はプリントに直接書き込む、という方法で行います。これによって、問題の内容や用語をしっかりと覚えることができ、理解が一層深まります。
- 何度も間違えた問題や理解できない問題は先生に質問したり、さらに、プリントで3回～4回解くようにします。一人ひとり間違いやすい問題や苦手な問題があります。それらの問題を諦めるのではなく、粘り強く理解しようと努力しましょう。
- 実験プリントを見返し、実験の手順を完璧に覚え、結果についてなぜそうなるのか、そこから何が分かるのかといった考察の部分の理解を深めましょう。

家庭学習の方法【英語科】

(1)教科担当から(教科で身につけてほしいこと)

英語は、世界のたくさんの人が使っている言葉です。世界中の人々と、気持ちや考えを伝えあえるようにコミュニケーションの手段としての英語を学びます。

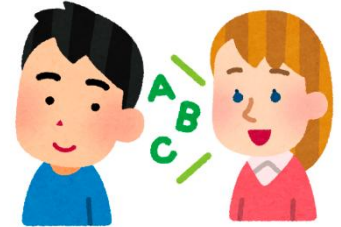
授業の中では、「読む」「聞く」「書く」「話す(やり取り)」「話す(発表)」を基にした様々な言語活動を通して、以下の能力を伸ばしていきます。

① 知識・技能の能力

英語の基本となる単語や熟語を覚え、文法事項を理解する力です。

② 思考・判断・表現の能力

自分の言いたいことや自分の意見を相手に伝える力や
英文を読んで、必要な情報や概要、要点を理解する力です。



(2)家庭での学習方法

① 自主学習ノートを活用する

○プリントの整理

② もう一度うつす。(大切なことは赤ペンで書く)

② 要点を自分なりに書く。(文法事項をまとめる)

○単語・本文を書く

① 教科書を写して書く。

② 日本語訳を見て、英語に直して書く。

○ワーク・問題集を解いてみる。

※必ず丸つけをして、間違えたものはやり直しをしたり、何度も書いたりしましょう。

わからない問題は先生に聞きましょう。 短時間でもよいので、毎日続けましょう。

○英文を書く

① 物語などを英訳する。

② 日記やテーマを決めて英訳する。



②教科書を音読する

音変化や抑揚、区切り等に気を付けながら、教科書の本文を英語らしく感情豊かに何回も音読する。

(3)テスト対策

・教科書の本文を何度も読んだり書いたりして、単語と英文を覚えましょう。本文がスラスラと読める、意味が分かる、日本語から英語に直せるまでくり返し練習しましょう。

・問題集を解きましょう。間違えた問題や分からなかった問題については、教科書等を見ながら分かるまでくり返ししましょう。

家庭学習の方法【音楽科】

(1)教科担当から（教科で身につけてほしいこと）

音楽は豊かな感受性を育てることを目的にしています。バランスの良い成長のために、音楽も他の教科と同様にしっかり学習するよう心掛けましょう。

① 知識・技能

- ・創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表わしましょう。歌唱や器楽などの基礎的な技能や知識を身につけましょう。
- ・音楽を形づくっている要素〔音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成〕を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、解釈したり価値を考えたりして、よさや美しさを味わって聴きましょう。音楽の構造と曲想を感じ取りながら鑑賞しましょう。また、我が国や諸外国の音楽文化・歴史と関連付けて鑑賞し、伝統音楽に対する理解を深めましょう。

②音楽表現の創意工夫

音楽を形づくっている要素〔音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成〕を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、音楽表現を工夫し、どのように表すかについて思いや意図をもちましょう。歌詞の内容や曲想を生かし、また、曲想を感じ取りながら演奏しましょう。

(2)家庭学習 30 分メニュー

①予習メニュー30 分

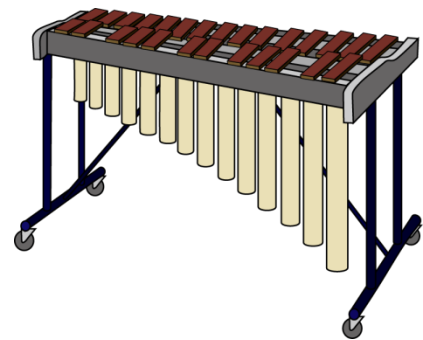
- ・授業で歌う歌の歌詞を教科書、プリント等を見て覚えましょう。
- ・リコーダーなどの楽器の指使いを練習しましょう。
- ・鑑賞では作曲者や曲に関する事柄を調べ、ノートにまとめましょう。

②復習メニュー30 分

- ・授業で行った歌や合奏を練習しましょう。
- ・作曲者や鑑賞曲などをノートに書いてしっかり覚えましょう。
- ・リコーダーの指使いなども確認しましょう。
- ・宿題が出たならばその日のうちに教科書を参考にして仕上げましょう。

③レベルアップメニュー30 分

- ・いろいろなジャンルの音楽に接しましょう。(TV、DVD、CD 等)
- ・自分が知っている曲などをリコーダーでチャレンジしましょう。
- ・積極的にコンサート、演奏会、ライブなどに出かけて、生の演奏に触れましょう。



(3)テスト対策

- ・ワークシートやワークの見直しをきちんとしましょう。
- ・歌詞、記号の意味、鑑賞で学習した内容、リコーダーの運指は何度もノートに書いて確実に覚えましょう。

家庭学習の方法【保健体育科】

(1)教科担当から（教科で身につけてほしいこと）

保健体育では、状況を判断し、自ら考え主体的に行動する力が求められます。そのため積極的に他者と関わりコミュニケーションを取りましょう。授業内では、毎時間提示されるめあてをもとに自分を越える目標を設定し、挑戦します。また、礼儀と規律を重んじる教科であるため、自分から大きな声で挨拶をするなど、ルールを守って授業に取り組む必要があります。

①知識・技能の能力

体育、保健に関する知識や技能の習得状況、身につけた知識を活用する能力。

②思考・判断・表現の能力

身につけた知識や技能を活用し、課題を解決するために考えて取り組み、他者と関わり情報を共有する能力。

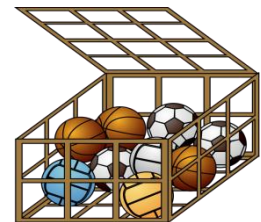
③主体的に学習に取り組む態度

知識、技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力を身につけるために粘り強く取り組み、自己の学習を調整する能力。

(2)家庭学習 30 分メニュー

①予習メニュー30 分

- ・実施スポーツのルールを理解するために、「中学図解体育」の本を活用し、学習しましょう。
- ・実施スポーツの運動する際のポイント等を確認し、授業で意識して行えるようにしましょう。
- ・実施スポーツによっては、柔軟性が必要となります。身体の硬い人は、家庭でストレッチを行い、運動をスムーズに行える準備をして怪我を防ぐようにしましょう。



②復習メニュー30 分

- ・実施スポーツの運動する際のポイント等の確認を行ない、次時の授業に対する意識を高めましょう。
- ・講座や種目によっては、レポート等を提出することになります。必ず提出しましょう。

③レベルアップメニュー30 分

- ・体力を高めるために、30分間のランニングや体幹トレーニングを家庭で行ないましょう。
- ・実際の会場やテレビでのスポーツ観戦を通してイメージトレーニングを行ない、実施スポーツのイメージを高めましょう。



(3)テスト対策

- ・保健や体育実技について、テスト範囲やポイントをしっかり確認し、保健の教科書、プリント、中学図解体育で学習しましょう。

家庭学習の方法【技術科】



(1) 教科担当から(教科で身に付けてほしいこと)

技術科では、現代社会において活用されているいろいろな技術の基礎的・基本的な内容を、実践的・体験的な学習活動を通して身につけます。また、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、学んだことを今後の生活で生かすことのできる能力と態度を育てます。

つまり、これからの社会の中で必要とされる生きる力を身につけることを目指しています。

① 知識・技能

生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な内容を理解し、それらに関わる技能・技術と生活や社会、環境との関わりについて理解しましょう。

② 思考・判断・表現

生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力をつけましょう。

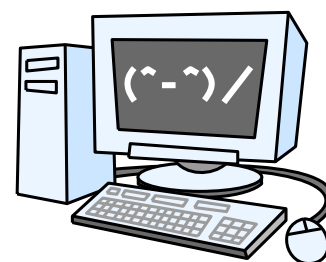
③ 主体的に取り組む態度

より良い生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を身につけましょう。

(2)家庭学習 30 分メニュー

①予習メニュー30 分

- ・教科書を開き、次に学習する範囲に目を通します。
- ・道具の使い方や、機械の操作方法を確認します。
- ・製作やコンピュータに触れることを普段から行いましょう。



②復習メニュー30 分

- ・教科書・ノート・課題プリントなどの重要語句やポイントを確認しましょう。
- ・道具や機器の名称などを確実に覚えましょう。
- ・学習したことを積極的に活用しましょう。

③レベルアップメニュー30 分

- ・教科書やノートなどの要点や重要語句、ポイントを別のノートにまとめましょう。
- ・専門技術を持った人たちの仕事を見ましょう。
- ・教科書やテレビなどを通して知識を吸収しましょう。
- ・インターネット等でコンピュータに慣れましょう。
- ・図書室の技術関係の本を読みましょう。



(3)テスト対策

- ・教科書やノート・課題プリントなどで学習したことをしっかり確認しましょう。
- ・作成したものの名称やつくり方、道具の使い方、名称を覚えましょう。
- ・コンピュータの操作方法やテキストを参考に学習したプログラムを確認しましょう。

家庭学習の方法【家庭科】



(1)教科担当から（教科で身につけてほしいこと）

家庭科は、「生きること」について学ぶ教科です。世界に一つしかない自分自身の命を大切に、人間の成長や家族、将来の生き方について考える教科です。

また人は、食べる、着る、住むという営みなしには生きていくことはできません。毎日を健康に生きるための基本として、衣食住についての基本的な知識と技術を身につけ、より良く生活するために自分で考え、工夫し実践していく意欲や態度を養いましょう。

①知識・技能

生活の自立に必要な衣食住や家族の生活などに関する基本的な技術を身につけましょう。

例) 幼児の観察、幼児とのふれあい、食品の用途に応じた選択、魚や肉を使った基礎的な日常食の調理、布を用いた物の製作、日常着の洗濯、衣服のほころびの補修など
生活の自立に必要な衣食住に関する基本的な知識を身につけましょう。

家庭や家族の基本的な機能、幼児の発達と生活の特徴、幼児の遊びの意義、食事が果たす役割、栄養素の種類と働き、食品の栄養的特質、食品の選び方、地域の食文化の意義、衣服材料の性質と手入れの方法、住居の基本的な機能、安全で快適な室内環境の整え方、消費者の基本的な権利と責任、消費者被害の背景とその対応、消費生活と環境の関わりなど

②思考・判断・表現

衣食住や家族の生活などについて見直し、課題を見つけ、その解決を目指して家庭生活をより良くするために工夫できるようにしましょう。

例) 幼児へのかかわり方の工夫、中学生の1日分の献立の工夫、目的に応じた着用や個性を活かす着用の工夫、安全で快適に住まう工夫、環境に配慮した消費生活の工夫など

③主体的に取り組む態度

衣食住や家族の生活などについて関心をもち、これからの生活を展望して家庭生活をより良くするために進んで学習しましょう。

(2)家庭学習 30 分メニュー（自主学習）

①衣食住、家族に関する新聞記事やニュースに興味関心を持って見ましょう。

記事をノートに貼り付け、要約、分かったこと、自分の考えなどをまとめる。

②家族の一員として家庭の仕事を積極的に行いましょう。

仕事内容をノートに詳しく書き、自分の反省、感想などをレポートする。

③学校で行った実習内容を家でもやってみましょう。

調理実習の復習をノートにレポートする。



(3)テスト対策

- ・テスト範囲の教科書、ノート、課題プリントなどをすみずみまで復習しましょう。
- ・授業で先生が言われる重要ポイントをしっかり聞いて、重点的に学習しましょう。（自主勉強ノートに学習し、テスト後に提出しよう）
- ・実習（調理実習や衣生活に関する実習やふれあい体験実習など）の内容を思い出しながら学習しましょう。

家庭学習の方法【美術科】

（１）教科担当から（教科で身につけてほしいこと）

美術は「表現する」教科です。「見るちから」「感じとるちから」「描くちから」「考えたことを表現できるちから」を３年間で身につけていきます。美術は生活の中に深く関わり、日々の生活をより豊かにするものです。



① 自分が表現しようとすることをイメージする力

考えたこと・感じたことを、資料を参考にしながらアイデアスケッチします。作家の作品や先輩の作品、友だちの作品などを参考にしながら自ら発想を深めていくことが作品に対する意欲にもつながります。

② イメージを形にするために必要な知識や技術

道具や用具を正しく扱い、ていねいに作品を制作するちからです。時間数を考えながら計画的に制作を進めていくことが、時間内に完成させるには大切です。

③ 見たり触れたりすることによって感じ取る力

作家の作品や友だちの作品を鑑賞し、感じたこと・考えたことを自分のことばで表現し、発表できるちからです。

（２）家庭学習 30 分メニュー

- ・ 普段の生活の中で様々な物を見て、おもしろいな、好きだなと思う形や、色彩、好きな絵をみつけること。
- ・ 「新日曜美術館」や「美の巨人たち」などの番組は分かりやすく、おもしろい構成になっているので興味のある回は見てみることで鑑賞の力もつきます。資料集の美術年表でチェックすると時代の流れも分かりやすくなります。
- ・ 休日には美術館・博物館・ギャラリーで足を運んで本物を見ることを積極的にしましょう。（様々な状況を考え、決して無理に外出することがないように気をつけてください）
- ・ 大切なのは、これらの経験を積み重ねて「美しいもの」を感じとる力を身につけ、自分自身の内面をより豊かなものにすることです。

（３）テスト対策

- ・ 教科書や美術資料、授業で配布するプリントをしっかりと復習すること。
- ・ 授業で制作上、重要なポイント（制作手順・用具名称・用具の使い方）も整理しておきましょう。
- ・ 実技問題は授業内での制作を基本にした問題です。条件をよく読み、時間内で完成させましょう。



家庭学習の具体例（5教科）

【国語科】

- ・新出漢字を漢字ノートに書き、何度も練習をする。（15分）
- ・教科書に出てきた語句の意味などを国語辞典で調べる。（15分）
- ・小テストの勉強や、間違った問題の解きなおしをする。（15分）
- ・授業で板書を写したノート、メモを、まとめ直す（20分）
- ・今習っている教科書の本文を音読しながら、ノートに写す。（30分）
- ・文法の問題をノートに写し、解きなおして答え合わせもする。（20分）
- ・古典は古文を音読しながらノートに写して、横に現代語訳を書く。（25分）
- ・新聞の記事や社説などを読み、内容をまとめ、感想をノートに書く。（30分）
- ・国語便覧を見て、文学史や文学上著名な人物についてノートにまとめる。（25分）

【社会科】

- ・小テストで出た内容を繰り返し復習する。（15分）
- ・教科書の重要語句を中心に、授業の復習ノートを作る。（30分）
- ・白地図の色塗り、地図に情報や地図記号を書き入れる。（30分）
- ・教科書を読み、重要語句を書いて暗記する。（15分）

【数学科】

- ・授業で解いた問題を、もう一度別のノートに解く。（15分）
- ・自分のレベルに合った問題集を、毎日時間を決めて解く。（20分～30分）
- ・これまでに学んだ計算問題を、毎日10問と決めて解く。（20分）
- ・テストで間違えた問題ばかりを一冊のノートにまとめ、解き直す。（30分）

【理科】

- ・記号や事項をカードにして、繰り返し復習する。（15分）
- ・教科書の重要語句を中心に、授業の復習ノートを作る。（30分）
- ・教科書を読み、重要語句を書いて暗記する。（15分）
- ・自分のレベルに合った問題集を、週に2日、時間を決めて解く。（20分～30分）

【英語科】

- ・教科書の音読練習を3回以上する。（15分）
- ・復習ノートを作り、本文と単語、それらの意味を書く。（30分）
- ・英単語を1日に5個と決めて覚える。（15分）
- ・毎日2～3つの基本例文をノートに書いて丸暗記する。（15分）
- ・英語の歌を聴き、英語の歌詞、対訳を読む。（15分）